

## 10) 靈的エクササイズ 5. 2020年4月19日 (日) 神の慈しみの主日

第一朗読 使徒言行録2：42-47

第二朗読 第一ペトロ1：3-9

福音 ヨハネ20：19-31

父と子と聖霊の御名によって アーメン  
イエスとマリアは讃えられますように。

兄弟姉妹の皆さん、今日は素晴らしい福音を聞きます。今日の福音箇所は長いですが、意味があります。後半は不信仰者、疑う者と言われるトマスのお話です。このトマスに自分を重ね合わせる人もいないのでしょうか？

しかし、神の目から見るとトマスは、そして私たち一人一人は、価値あるものなのです。私たちが持つ疑い、疑問、恐れ、私たちが押し潰そうとするあらゆるものを含めて、神の目から 見ると私たちは価値あるものなのです。

今日の福音箇所でも二回同じことが起こっていますが、何か分かりますか？ 二度、鍵がかけられていた部屋にイエスが入って来られたのです。最初はトマスがいない時でした。弟子たちはユダヤ人たちを恐れて部屋に閉じこもっていたのです。しかし、天と地のすべてのものの上に権能を与えられたイエスは、鍵のかかった部屋に入って来られました。

イエスは私たちが持つ様々な恐れ、精神的なもの、病気、困窮、あるいは自分の存在に関すること、などなどの恐れの中に入って来られます。この「恐れ」はイエスが私たちの中に入って来ることを妨げることはできません。イエスは来られます。

福音書に戻りますが、二度目もイエスは鍵のかかった部屋に入って来られました。この度はトマスもいました。この部分は英語では、「They were locked in」(閉じこもる)と書かれています。今、「locked down」という言葉がよく聞かれますが、今の私たちのように封鎖され、自由に動けない状態ですね。トマスは自分でロックダウンしてしまいました。自分の持つ「疑い」の中に閉じこもってしまったのです。

トマスは他の弟子たちが持っているものを欲しいと思いました。この気持ち、私はよく理解できます。私が回心したときのことですが、当時15歳の私は祈りの集いに行き、若者たちが自由に大胆に神を賛美しているのを見て、驚きました。イエスは彼らの真ん中におられたのを感じました。私も彼らと同じ体験をしたい、彼らが持っているものが欲しい、と思ったのです。

トマスもイエスを見たいと思いました。それどころか、もしその人を見たら、手と足に釘の跡(あと)はあるか、脇腹に傷があるかを確認したいと思ったのです。私が思うに、他の弟子たちがこういうことを言葉にすることができなかったので、トマスがあえて口に出したのではないのでしょうか？ ですから、トマスは私たちにとって大変貴重な存在です。

一度死んだ者が復活するなどありえるだろうか？ また生きていて私たちの中にいるなどということがあるだろうか？ そのような数々の疑問を弟子たちは持ったに違いないと思うのです。でも、口にすることはできませんでした。

親愛なるトマス、この疑問を言い表してくれてありがとう！ 他の弟子たちがあなたを理解できなかったときも、態度をくずさずにいてくれたことに感謝します。イエス、トマスがこの疑問をもつこと、あなたの傷を確認することを許してくださってありがとうございます。

「トマス、お前は疑う者だ。そんな者はわたしには必要ない」などと、あなたはおっしゃいませんでした。彼を受け入れ、あなたの御傷をお見せになり、あなたの御傷を確認させてくださいました。そして、あなたはトマスの深い傷に触れられました。

ラザロが死んだと連絡が来た時、トマスは「私たちも行っ一緒に死のうではないか」（ヨハネ11：16）と言ったその人でした。トマスはイエスをとても愛し、いつもイエスのそばにいたいことを望んでいました。そのイエスが死んだことは、トマスの心に深い傷を作りました。この傷を慰め、癒すことができるのは、イエス・キリストお一人しかいません。

イエスはトマスを選ばれました。イエスは私たちの一人一人も選んでくださったのです。

皆さんに提案します。今日は、皆さんのすべての傷、鍵のかかった部屋をイエスに明け渡しましょう。「いや、他の人はイエスとの体験をしたかもしれないけど、私はしていない。これは私以外の人への招待だろう」などとは言わないでください。

あなたの傷を、痛みを、イエスに差し出してください。あなたが閉じこもっている部屋に、イエスを招待してください。妨げの壁の向こうにイエスに来てもらってください。イエスはそれを待ち焦がれています。心の底からイエスを呼んでください。

イエスはトマスを拒否しなかったように、あなたを拒否することはありません。

私たちが今歩みはじめた信仰を深めるこの道を、主が祝福してくださいますように。私たちと家族のすべての傷を主の尊い御血で覆い、癒してくださいますように。  
父と子と聖霊の御名によって、アーメン

本当に苦しまれ、本当に死に、本当に復活されたイエスとともに、祝福された1日をお過ごしください。